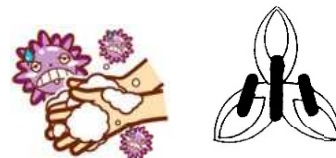


やってみよう（勇気） 続けてみよう（粘り強さ） 最後まで（たくましさ）

【令和3年度重点合言葉】 あいさつ 音読 タブレット



上河内東小学校だより 2月号



新しい生活様式：『3密避けて 手洗い・消毒・マスクに換気』

文責 校長 田沼広志



感染対策 健康にご留意を



2月は昔の呼び名では如月。如月の由来は、まだまだ寒さが厳しい時期のため、更に衣を重ね着するという意味の『衣更着』からできた言葉というのが最も有力な説だそうです。中国では2月のことを『如月（にょげつ）』という異名があり、寒い冬が終わり春に向かって万物が動き始めるという意味があるそうで、この字があてられたとされています。その通り、まだまだ寒い日が続きます。また、20日まで県内ではまん延防止等重点措置が出されるなど、各地でクラスターも発生しています。感染力が強いとされているので、気になるときにはまずご一報ください。

冒険活動教室 ～令和4年1月13日（木）14日（金）第5学年～



年明け早々5年生の冒険活動教室がありました。昨年度は感染拡大を受け日帰りでの活動となりましたが、今年度は、一泊することができました。例年二泊での活動ですので少々寂しい気は致しますが、それでも、第6学年での修学旅行に向けて宿泊訓練ができたことは、子供たちにとって大きな経験だと感じております。5年生の冒険活動教室終了をもって今年度の遠足・宿泊学習は全て終了いたしました。保護者の皆様のご理解ご協力、ありがとうございました。



1日目は『イニシアティブゲーム』2日目は『杉板焼き』をメインに活動しました。一人ではできないことも、協力することで解決できることを学びました。キラキラした顔で、一回り成長して帰ってきました。



そろばん学習 第3, 4学年 算数



12月に3日間、鈴木一雄様にお世話になり、そろばんの学習をしました。



今や海外で人気のそろばん。右脳が活性化され「集中力」「忍耐力」「記憶力」などに効果があると学習に取り入れられています。



避難訓練 非通知



12月22日（水）に、予告なしでの避難訓練を実施しました。災害はいつ起こるかわかりません。我々の都合に合わせてもくれません。だからこそ、日頃から、家族で有事に備えての話し合いが大切です。

- お子さんがはぐれてしまった時の集合場所は決まっていますか？
- 避難物品は用意できていますか？

人権標語・ほかほかの木

校内人権週間に合わせて、児童に人権標語を募集し、学級代表が決まりました。また、優しい言葉、温かい言葉を集めた『ほかほかの木』を作成しました。過日配付いたしました人権だよりも併せてご覧ください。



『わたしもだいじ
だいじ たすけあうことが
いじ』一年 長谷川 夏音

『人の命は大切だ
人の気持ちは大切だ
だからみんな大切にしよう』二年 藤枝 巧

『わたしはね 自分らしく
生きるのよ』三年 高橋 優菜

『一人一人 自分らしく
生きていこう』四年 佐藤 由利愛

『人権は 世界の人の
希望の光』五年 篠原 彩希

『自分から 認めていこう
人の個性』六年 大森 千輝

第6学年 特別授業 キャリア教育・いのちの授業

第6学年では、卒業を前に、『働くことについて』『命について』の学習をしました。講師の先生方がありがとうございました。



【キャリア教育】

講師：高城朱美様

※本校保護者

☆様々な職業経験談をお話いただきました。

【いのちの授業】

講師：甲斐裕美先生

※特定非営利活動 VIVACE 代表

☆がん患者へのホスピスのご経験をお話いただきました。



卒業式について

今年度の卒業式についてお知らせいたします。感染が急拡大しているため、昨年同様の対応を取らせていただきます。ご了承ください。

1. 日時：令和4年3月17日（木）10時開始
※詳しくは第6学年保護者様宛に出されたプリントをご確認ください。
☆昨年度同様、例年よりも時間を短縮して実施いたします。（40～50分程度）
2. 場所：本校体育館 ※検温・消毒等にご協力ください
3. 参加者：第6学年児童、教職員、第6学年保護者（2名まで）
第1学年～第5学年：臨時休業 ※プリント参照
4. 卒業生歓送：前日下校時 ※下校予定時刻：15時05分



子育て考 立命館大学教授 医学博士 臨床心理士 宮口幸治「子供の非行」の裏側にあるもの より

大人は誰でも子供を応援したいもの。しかし、**悪意無くよかれと思ってかける言葉が、かえってやる気を失わせる**こともあるそうです。代表的な例が『でもね…』という言葉。子供は話を聞いてほしいだけなのに、大人が途中で割り込み『でもね、それはあなたにも問題があるのでは』の一言で二度と心を開かなくなることもあるそうです。特に、認知機能が弱っている人や子供と接するときには気を付ける必要があります。「やる気スイッチ」は外からは押せないもの。自分や周囲の状況を正確に理解できると、自然と「やる気スイッチ」の起爆剤になる。つまり、**自身の本音を自覚させることが大切**です。

予算削減のため白黒印刷にしております。ご容赦ください。カラー版はホームページでご覧ください。